

令和8年3月17日

## 芝山町地域ケア会議の内容について

(令和7年度芝山町地域ケア推進会議)

高齢になっても住み慣れた地域で尊厳のあるその人らしい生活が継続できるよう、高齢者個人に対する支援とそれを支える地域づくりを同時に図ることを目的として、芝山町では地域ケア個別会議を年2回開催しています。

地域ケア個別会議で把握された地域の課題に対し、今あるサービス等の形を変えたり、新たにサービス形成に繋げていくのが地域ケア推進会議です。

※令和5年度より、生活支援等サービス協議体の中で実施。

### 令和6年度第2回地域ケア個別会議

#### [共通する課題]

介護サービスに繋げることが目標ではなく、自分の『役割』を大事にして生活することで、意欲低下することなく過ごすことができる。介護サービスに限らず、本人の好きな事や目標を大事にして支援していく必要がある。

### 令和7年度第1回地域ケア個別会議

#### [共通する課題]

老々介護で、主介護者の入院により、認定者の生活に影響が出てしまったケースを検討。背景として、1ケース目は1日置きに人工透析を受けている事、2ケース目は認定者が感染症発症したことにより、介護者入院中にショートステイや入院等ができないという状況があった。結果、その他の親族やケアマネに大きく負担がかかる状況となった。

#### 【芝山町の地域課題】

○介護認定者となっても、支援を受ける側というだけでなく、少し手を借りたり体の動かし方を工夫することで、地域で『役割』をもつことができる。

サービスを利用するだけでなく、地域の高齢者がイキイキと生活できる活動についてどんなものが考えられるかを話し合いました。

具体的には、花を植える活動(福祉センター等公共施設の花壇)や学童バスの送迎の見守り、調理室の包丁研ぎなどができるのではないかという意見がありました。

○芝山町には、身寄りのない人、家族が遠方の人など、高齢者のみの世帯は多数おり、今後も、介護者不在の際に入院もショートステイも利用できない状況が発生する可能性があります(町内のひとり暮らし高齢者152人、高齢者のみの世帯107世帯※令和6年度地区社協調査より)。

町や生活支援等サービス協議体として手を差し伸べられる手段について検討しました。

介護者不在、認定者が感染症等の場合、ショートステイ等を提供する施設側は、他の入所

者を守るため受け入れが難しく、訪問型のサービス提供で支援していく形が考えられますが、介護サービスだけでなく地域とも繋がりながらやっていけると良いのではないかと話し合いました。